



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年10月27日

上場会社名 旭精機工業株式会社 上場取引所 名
コード番号 6111 URL <https://www.asahiseiki-mfg.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 神谷 真二
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 青木 潤 TEL 0561-52-5356
四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の業績 (2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	5,898	1.1	197	△29.2	236	△22.7	156	△22.5
2022年3月期第2四半期	5,835	32.7	279	—	306	—	202	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	62.92	—
2022年3月期第2四半期	83.86	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	20,184	13,502	66.9
2022年3月期	20,140	13,560	67.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 13,502百万円 2022年3月期 13,560百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	70.00	70.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期 (予想)	—	—	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,800	6.8	430	1.6	500	5.3	330	△34.5	132.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	3,088,739株	2022年3月期	3,088,739株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	599,810株	2022年3月期	599,703株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	2,488,975株	2022年3月期2Q	2,409,362株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第2四半期累計期間)	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢による原油・原材料価格の高騰や世界的な部材不足等に加え歴史的な円安の進行などにより、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと当社におきましては、プレス機械の売上が生産強化の取り組みの結果増加したものの、主に自動車業界の減産等の影響を受けた精密金属加工品の売上が減少したことなどから、売上高は58億9千8百万円と前年同期比1.1%の増加にとどまりました。利益面につきましては、主に原材料価格の高騰、販売力強化に向けた販売促進費の増加等により、営業利益は1億9千7百万円と前年同期比29.2%の減少、経常利益は2億3千6百万円と前年同期比22.7%の減少、四半期純利益は1億5千6百万円と前年同期比22.5%の減少となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

[精密加工事業部]

精密加工事業部における当第2四半期累計期間の売上高は、27億1千4百万円と前年同期比10.7%の減少となり、その内容は以下のとおりです。

「精密金属加工品」は、自動車業界の減産等の影響を受け、自動車関連部品を中心に売上が減少したことから、19億4千9百万円と前年同期比10.3%の減少となりました。「小口径銃弾」は、政府の予算執行を受け7億6千4百万円と前年同期比11.7%の減少となりました。

[機械事業部]

機械事業部における当第2四半期累計期間の売上高は、31億8千4百万円と前年同期比13.8%の増加となり、その主な内容は以下のとおりです。

「プレス機械」は、電気自動車(EV)向けのリチウムイオン電池缶製造用プレス機械の売上増により、27億9千1百万円と前年同期比24.3%の増加となりました。「ばね機械」は、顧客からの受注が大型機を中心に回復しているものの納期等の関係から、1億8千6百万円と前年同期比14.6%の減少となりました。「自動車・専用機」は、リードタイムの長い機種が多いことから、1億8千5百万円と前年同期比14.1%の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は前事業年度末より4千3百万円増加し、201億8千4百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が9億4千3百万円減少したものの、仕掛品が8億3千2百万円、製品が2億3千7百万円それぞれ増加したためです。負債につきましては、1億2百万円増加し、66億8千2百万円となりました。これは主に、未払法人税等が1億3百万円減少したものの、電子記録債務が1億2千1百万円増加したためです。純資産につきましては、5千8百万円減少し、135億2百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が3千7百万円減少したためです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は50億9千4百万円となり、前事業年度末より5億6千5百万円減少しました。

各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は1億4千2百万円となりました。これは主に、売上債権の減少で7億4千6百万円増加及び減価償却費で3億3千8百万円計上したものの、棚卸資産の増加で13億2百万円減少したためです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は2億4千9百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得により2億3千7百万円支出したためです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は1億7千5百万円となりました。これは主に、配当金で1億7千3百万円支出したためです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期の業績予想につきましては、主に精密金属加工品等の売上が当初予想より下回る見込みとなるため、予想値を修正いたします。

なお、2022年4月28日に公表した業績予想値に対し、第2四半期の業績予想値につきましては、2022年10月5日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で修正いたしましたが、通期業績予想値につきましては、以下の通り修正いたします。

(2023年3月期通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 14,400	百万円 540	百万円 600	百万円 400	円 銭 160.70
今回修正予想(B)	13,800	430	500	330	132.59
増減額(B-A)	△600	△110	△100	△70	—
増減率(%)	△4.2	△20.4	△16.7	△17.5	—
前期実績 (2022年3月期)	12,919	423	474	504	207.64

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,659,776	5,094,532
受取手形及び売掛金	2,491,254	1,547,815
電子記録債権	572,324	768,769
製品	356,785	594,736
仕掛品	2,936,177	3,769,048
原材料及び貯蔵品	656,500	887,956
その他	95,277	214,570
貸倒引当金	△3,800	△2,700
流動資産合計	12,764,296	12,874,730
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,897,681	1,854,692
機械及び装置(純額)	1,467,251	1,352,498
その他(純額)	1,227,074	1,325,483
有形固定資産合計	4,592,007	4,532,674
無形固定資産	67,781	65,081
投資その他の資産		
投資有価証券	2,461,802	2,430,274
その他	254,751	281,873
投資その他の資産合計	2,716,554	2,712,148
固定資産合計	7,376,343	7,309,905
資産合計	20,140,639	20,184,635

(単位:千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	917,920	954,404
電子記録債務	1,908,583	2,030,514
短期借入金	1,700,000	1,700,000
未払法人税等	216,292	112,525
賞与引当金	300,960	261,355
役員業績報酬引当金	30,000	-
その他	550,369	739,511
流動負債合計	5,624,126	5,798,309
固定負債		
退職給付引当金	856,851	853,678
その他	99,124	30,622
固定負債合計	955,975	884,301
負債合計	6,580,101	6,682,611
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,175,416	4,175,416
資本剰余金	3,468,202	3,468,202
利益剰余金	6,026,836	6,009,219
自己株式	△1,264,656	△1,264,896
株主資本合計	12,405,799	12,387,943
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,154,738	1,117,192
繰延ヘッジ損益	-	△3,111
評価・換算差額等合計	1,154,738	1,114,081
純資産合計	13,560,537	13,502,024
負債純資産合計	20,140,639	20,184,635

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	5,835,507	5,898,208
売上原価	4,680,241	4,771,705
売上総利益	1,155,265	1,126,502
販売費及び一般管理費	875,784	928,512
営業利益	279,480	197,989
営業外収益		
受取利息	251	250
受取配当金	26,229	31,377
固定資産賃貸料	18,696	17,242
その他	3,902	7,839
営業外収益合計	49,079	56,710
営業外費用		
支払利息	5,466	4,828
固定資産賃貸費用	9,917	9,093
コミットメントフィー	5,005	3,287
その他	1,734	645
営業外費用合計	22,124	17,854
経常利益	306,435	236,845
税引前四半期純利益	306,435	236,845
法人税等	104,380	80,230
四半期純利益	202,055	156,615

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	306,435	236,845
減価償却費	375,617	338,885
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△700	△1,100
賞与引当金の増減額(△は減少)	△61,501	△39,605
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△25,778	△3,172
受取利息及び受取配当金	△26,480	△31,628
支払利息	5,466	4,828
売上債権の増減額(△は増加)	353,688	746,873
棚卸資産の増減額(△は増加)	△707,833	△1,302,279
仕入債務の増減額(△は減少)	△83,573	186,733
その他	△396,984	△125,060
小計	△261,645	11,320
利息及び配当金の受取額	26,600	31,748
利息の支払額	△5,544	△4,837
法人税等の支払額	△207,844	△180,973
営業活動によるキャッシュ・フロー	△448,433	△142,741
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△190,312	△237,092
有形固定資産の売却による収入	6,280	27
無形固定資産の取得による支出	△13,350	△11,391
投資有価証券の取得による支出	△2,465	△1,997
その他	△803	727
投資活動によるキャッシュ・フロー	△200,651	△249,726
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,230,000	-
自己株式の取得による支出	△446	△239
配当金の支払額	△168,239	△173,656
その他	△3,982	△1,991
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,402,668	△175,888
現金及び現金同等物に係る換算差額	70	3,112
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,051,683	△565,244
現金及び現金同等物の期首残高	6,976,589	5,659,776
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,924,905	5,094,532

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期財務諸表への影響はありません。